

■■■ 福祉社会学会 ニュースレター 第 23 号 ■■■
Japan Welfare Sociology Association Newsletter No.23

http://www.soc.nii.ac.jp/jwsa/
E-mail: ws@univcoop.or.jp

***** INDEX *****

- 福祉社会学会・第9回大会 テーマセッションのテーマとコーディネーターの募集について (2月18日締切)
- 福祉社会学会・第9回大会・自由報告の募集について (3月25日申込締切)
- 学会賞選考委員会より推薦のお願い
- 会費値上げ延期の試み
- 理事会報告
- 新入会員など紹介
- 事務局からのお願い

■福祉社会学会・第9回大会 テーマセッションのテーマとコーディネーターの募集について

福祉社会学会・第9回大会(2011年、開催校=東北大学)では、前回大会に続き、テーマセッションを公募することとなりました。テーマセッションにおいては、一般性の高いテーマを扱うシンポジウムとは異なり、コーディネーターの方を中心に福祉社会学における特定のテーマを多様な角度から議論していただきます。このテーマセッションのテーマとコーディネーターを下記の要領で募集します。大会は6月11日(土)・12日(日)、東北大学川内キャンパス(仙台市青葉区川内27-1)にて開催される予定です。なお、部会編成の都合上、発表日時のご希望には応じかねますのでご了解ください。

- ① テーマセッションは、今号ニュースレターでテーマとコーディネーターを募集し、採択されたテーマについて2月下旬発行予定のニュースレターで報告者の募集を行い、コーディネーターの調整によって報告者を決定して設置されるものです。調整の結果不採択となった場合や、部会が成立しなかった場合も、報告希望者は大会の他の自由報告部会で報告していただくことができます。
- ② コーディネーターには、報告者・報告順の決定に加え、当日の司会を行なっていただきます。テーマ採択の決定、報告者の募集などについて2月下旬にお知らせします。テーマセッション報告の応募の締めきりは3月25日(金)の予定です。
- ③ コーディネーター希望の方は、下記の事項を電子メールで、2月18日(金)までに、担当研究委員・鎮目真人(立命館大学)まで以下の様式とともにご連絡ください。

●テーマセッション・コーディネーターの申込み事項

- ◆氏名
- ◆所属
- ◆連絡先(住所・電話番号・電子メールアドレス)
- ◆テーマ(そのまま部会名となります)
- ◆部会趣旨(800字程度。採択された場合は、報告者募集のニュースレターに報告者募集用原稿としてそのまま掲載されます。)

電子メールあて先： 担当研究委員・鎮目真人(立命館大学) shizu@fc.ritsumeai.ac.jp

※テーマセッション申し込みをされた方に対しては、受理通知を電子メールで返信しますので、2月23日（水）までに返信がない場合は、上記のメールアドレス、または、鎮目の研究室 TEL075-466-3091（直通）までご連絡ください。

■福祉社会学会・第9回大会 自由報告の募集について

先に申し上げたとおり、第9回大会は6月11日（土）・12日（日）に東北大学で開催されますが、例年通り自由報告を募集します。本大会における自由報告の申し込みは、2月下旬に発行する学会ニューズレターにて説明を行い正式に募集いたしますが、申込書の提出締め切りが**3月25日（金）**、予稿集の締め切りが**4月8日（金）**の予定です。なお、申し込みは電子メールのみの受け付けとなりますので、あらかじめご了解ください。また、電子メールでニューズレター配信を受けておられる会員の方々には、2月下旬に発行する学会ニューズレターは通常どおりメール配信のみとなります（郵送されません）。自由報告申し込みを検討される場合は、この時期のメールおよび本学会のWEBページに掲載される大会WEBページ（2月下旬に更新予定）にご注意いただき、締め切りなどのお見落としのないようお願いいたします。学会WEBページのURL は次の通りです。 <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jwsa/>

■学会賞選考委員会より 会員の皆さまからの推薦のお願い

2011年の福祉社会学会総会において、第1回福祉社会学会賞（学術賞及び奨励賞）の発表が行われます。現在は推薦書類の受付期間中であり、以下の要領にもとづいて会員の皆さまからの候補者の推薦をお願いしております。自薦・他薦は問いませんが、各会員が推薦できるのは各賞につき1点以内となっております。なお、学会賞規程は学会ホームページに掲載されておりますのでご覧ください。

<受賞資格者及び受賞の対象について>

学術賞：受賞資格者は、「すべて」の会員。受賞の対象は「単著の著書」。

奨励賞：受賞資格者は、原則として、「修士課程入学後13年以内」、もしくは「博士課程入学後11年以内」の会員（授賞対象の刊行日を満期とする）。受賞の対象は「単著の著書」、あるいは「本学会誌掲載論文の他、他の学会誌などに掲載された査読付の論文」。

<受賞の対象の著書及び論文の刊行日について>

「2009年1月1日から2010年12月31日まで」の2年間に刊行された著書及び論文

<自薦及び他薦の方法>

推薦書類の受付期間は「2011年1月5日から2011年1月31日まで」です。自薦・他薦いずれの場合でも推薦される方は、まず、学会ホームページから推薦用紙をダウンロードしてご記入ください。つぎに、「記入・印刷した推薦用紙」1枚と「対象の著書あるいは論文」1部（希望する場合、著書は審査後に返却。また論文はコピーでも可）を同封して、

〒166-8532 東京都杉並区和田 3-30-22 大学生協学会支援センター内 福祉社会学会・学会賞推薦受付係宛にお送りください。なお、宅配便、簡易書留など配達記録が残る方法でお送りください。

加えて、記入した推薦用紙のファイルを添付して、「推薦書類を学会賞推薦受付係宛に送付した」旨を sgoto@n-fukushi.ac.jp（学会賞担当：後藤澄江・日本福祉大学）までメールで連絡ください。確認とリスト作成に必要なため、お手数ですがよろしくお願ひします。推薦方法に関して不明な点がある場合も、上記の sgoto@n-fukushi.ac.jp までお問い合わせください。

■会費値上げ延期の試み

福祉社会学会会員のみなさま

2010年12月12日に開催されました理事会において、2010年度の会計実績を踏まえ会費値上げについての延期を提案し、賛同を得ました。みなさまからのご協力を得て、会費値上げの延期を再度みなさまに提案することができますことを、うれしく思います。つきましては、会費値上げをもう1年延期することをお認めいただきたくお願い申し上げます。以上、どうかよろしくご検討のほどお願いいたします。

福祉社会学会会長 武川正吾
財務担当理事 白波瀬佐和子

■理事会報告

●10年度・第2回理事会の議事録

日時：2010年12月12日（日）14時～17時30分

場所：東京大学 法文1号館115教室

出席者：武川、藤村、三重野、稲葉、山田、後藤、小林、鎮目、鍾、高野、永井、平岡、牧里、白波瀬（委任状）、立岩（委任状）、神山（事務局広報）

●報告事項・審議事項

1. 第9回大会（2011年度）・第10回大会（2012年度）大会について
 - ・第9回大会開催校（東北大学文学研究科）の永井理事から挨拶があり、開催日程を2011年6月11,12日とすることが承認された。
 - ・第10回大会を首都大学東京で開催することが承認された（担当：稲葉理事）。
2. 第9回大会（2010年度）の結果報告について
 - ・高野理事より以下の報告・提案がなされ、審議が行われた。
 - ①第8回大会（九州大学）の結果について報告がなされ、収支報告書が承認された。参加者は187名（事前68名、当日77名、うち非会員46名）、非会員シンポジウム登壇者4名、アルバイト学生・院生協力者38名。
 - ②開催校の負担を考え、担当業務の簡素化を今後検討する。当日の会場でのサービスと懇親会の設定を基本とし、大会プログラムの送付や大会口座の管理は学会が行うという可能性を検討する。
3. 研究委員会の活動報告、検討事項
 - ・山田研究委員長より以下の報告・説明がなされ、審議が行われた。
 - ①10年7月24日に名古屋大学大学院と共催で例会が行われ、また、10年12月19日に学会後援で若手応援座談会が、11年3月13日に保健医療社会学会と共催で例会が行われる予定である。
 - ②今後の例会については、定例化、地方例会の開催を推進してゆく。
 - ③須田研究委員を中心にこれまで実施した若手応援プロジェクトに関連する出版物の企画が行われているとの報告を受け、企画への学会の関わり方などについて審議が行われ、須田研究委員と研究委員長・編集委員長が適宜話し合い検討することを決定した。
 - ④第9回大会に関し、シンポジウムとして「グローバル化の中の福祉政策」が提案され、承認された。また、大会校企画・委員会企画は実施しないことが承認された。
 - ⑤第9回大会におけるテーマセッションのテーマ募集締切を2月18日、自由報告などの募集締切を3月25日とすることが提案され、承認された。
 - ⑥社会政策関連学協議会主催で3月4日に開催する研究会には、学会からの報告者として森川美絵会員を推薦することが提案され、承認された。
4. 編集委員会の活動報告、検討事項
 - ・稲葉編集委員長より以下の報告・説明がなされ、審議が行われた。
 - ①学会誌8号の編集進捗状況について、試験的な論文受付・査読のオンライン化が行われたこと、7本の投稿があり1月末の入稿を目標に編集作業中であること等の説明がなされた。
 - ②学会誌の編集事務オンライン化にともなう投稿規程の改正案が提案され、承認された。
 - ③投稿規程に関し、2重投稿の禁止規程など基本的な項目についてより明快な記述にするよう改正す

ることについて審議が求められ、今後編集委員会で検討することが決定した。

④学会誌への出版物等の広告の掲載について審議が求められ、原則、掲載を可とすることが決定した。また、その収益は学会・出版社で折半とするよう、三重野庶務理事が出版社に打診することが決定した。

⑤学会誌の電子ジャーナル化について、今後の幹事会・理事会で検討・審議するための準備を編集委員会が進めることが決定した。

5. 学会賞の審査について

・後藤学会賞担当理事より以下の報告・説明がなされ、審議が行われた。

①第1回学会賞授賞に向けての選考の現状について説明がなされた。

②福祉社会学会賞規程第3条（受賞資格者）における「修士課程入学後13年以内」・「博士課程入学後11年以内」の文言につき、期間満了日の解釈について審議が求められた。結果、期間満了日は受賞対象著作の刊行日と解釈されることを確認した。

③同規程第6条（選考方法）2における「…会員は、本賞受賞に値すると思われる著書または論文についてそれぞれ1点以内を…推薦することができる」の文言につき、文意の解釈について審議が求められた。結果、「各会員は各賞それぞれ1点以内を推薦できる」の意と解釈されることを確認した。

④受賞者の発表に関し、受賞者には賞状のみを授与することを決定した。また、賞状の作成は後藤学会賞担当理事と稲葉編集委員長が協力して進めることが決定した。

6. 社会学系コンソーシアムの活動報告

・平岡コンソーシアム担当理事より以下の報告がなされた。

①10年8月に、須田木綿子会員を含む6名の評議員から成る国際交流委員会が発足した。

②11年1月30日に、テーマを「社会福祉学／社会学の国際化、再編」として、2010年度シンポジウムが開催される。

③10年9月より西日本社会学会が正式加盟し加盟学会は30となった。

7. 社会政策関連学会協議会の活動報告

・三重野協議員より以下の報告・説明がなされ、審議が行われた。

①10年10月に社会政策関連学会協議会メールニュースが創刊された。

②11年度の公開シンポジウムは日本学術会議包摂分科会との共催で6月25日に開催される。

③11年3月4日に協議会主催の研究会「ジェンダーと社会政策」が開催される。

④12年度開催予定の企画の方針について、また、協議会と日本学術会議との連携強化の方針について説明がなされた。

8. 学会ホームページの移設について

・三重野庶務理事より以下の報告がなされ、審議が行われた。

①本学会のホームページ（HP）運営に利用している国立情報学研究所の学協会情報発信サービスが、HP構築・提供支援のサービスを12年3月に終了するので、これに対応し、学会HPの移設を準備中である。

②学会HPの移設に関し、同様のサービスを行う会社の見積もりをもとに審議がなされ、今後、庶務理事・会長・編集委員長・研究委員長で他社のサービスについても情報を集め検討を続けることを決定した。

9. 『福祉社会学研究』の学会への売上の還元について

・三重野庶務理事より以下の報告がなされ、審議が行われた。

①学会誌を出版している東信堂と会合し、委託販売に要する経費を差し引いた上で、学会誌の実売価格の5割は学会に還元される旨の出版契約を確認した。

②学会誌の売上額を算出した出版社による資料をもとに審議がなされ、一部項目の算出根拠等について、庶務理事が出版社に問合せ、還元額を確定してゆくことが決定した。

10. 学会会計の据置き等について

・白波瀬財務担当理事（三重野庶務理事が代行）より以下の報告がなされ、審議が行われた。

⑩10年度予算および11年度予算案の資料をもとに審議がなされ、11年度予算案について、大会開催補助費を20万円とするなどの他、雑誌売上の還元分やホームページの移設費用などを組み入れ、財務担当理事が再計算し予算案を作成することが決定した。

⑪10年度に引き続き、11年度も経費削減に努め学会費値上げを据え置くことを決定した。

1 1. 理事選挙について

・三重野庶務理事より、以下の報告がなされ、審議が行われた。

①次期理事選出のための選挙について、選挙人名簿確認期間を11年1月24日～2月4日、投票用紙発送期間を2月7日、投票期間を2月7日～2月25日として実施することが提案され、承認された。

②選挙管理委員会の委員選出について審議が求められ、現理事からは三重野理事と稲葉理事を委員として選出した。一般会員から選出する2名の委員は会長一任とし、三重野庶務理事が推薦者に打診することを決定した。

1 2. 論文の抄録の利用許諾について

・三重野庶務理事より、以下の報告がなされ、審議が行われた。

①独立行政法人科学技術振興機構から、学会誌の著者抄録を機構のデータベースに使用してほしいとの連絡があった。

②抄録利用許諾依頼書などをもとに審議が行われ、和文抄録の利用を有料にて許諾し、さらに英文抄録の利用に関しても庶務理事が問い合わせることを決定した。

1 3. 会費納入・会員状況について

・三重野庶務理事より、会費納入・会員状況等について、現在の会員数は471名、10年度まで会費納入済の会員比率は79.4%と、未納率がやや増加していることなど説明がなされた。

1 4. その他

(1)ロゴ・マークの作成について

・武川会長より、福祉社会学会のロゴ・マーク作成について提案があり、審議がなされた。事務局を中心に会員からの公募も行い、ロゴ・マーク作成のための作業を進めることを決定した。

(2)入退会の承認

・6名の入会希望者の入会を承認し、3名の退会希望者の退会を承認した。

(3)次回理事会・幹事会の日程

・次回理事会は11年6月11日(土)開催予定とすることを決定した。

■新入会員など紹介

理事会で、以下の方々の入会承認・退会確認がなされました。

(WEB版では省略)

■事務局からのお願いとお知らせ

▼お願い

住所変更やEmailのアドレスを変更した場合は、必ず大学生協・学会支援センター・福祉社会学会担当宛(学会のメールアドレス先)お知らせください。ニューズレターを受信できていない方がいる場合は学会アドレスまで、ご連絡くださいますようお願いいたします。

▼お知らせ

理事選挙の時期になりましたので、理事選挙と資格確認についてのお知らせを送付いたします。ご協力量宜しくお願い申し上げます。

【発行・編集】 福祉社会学会事務局